

【 畜産物安全行政 】

1 開催期日 令和7年9月30日（火）～10月3日（金） 4日間

2 講義日程

月日	時間	講義名及び講師の所属氏名
9月30日 （火）	13:10 ～13:30	開講式
	13:30 ～14:30	リスク管理とは 消費・安全局 食品安全政策課 課長 浜谷 直史
	14:45 ～15:45	リスクコミュニケーションの推進について 消費・安全局 食品安全政策課 情報発信企画・評価班 企画官 渡邊 琢也
	16:00 ～17:00	食品安全委員会におけるリスク評価について 内閣府 食品安全委員会事務局 評価第一課 課長補佐 下平 浩己
10月1日 （水）	8:45 ～10:15	畜産物の安全性確保を目指す生産衛生の推進 日本大学 生物資源科学部 獣医学科 教授 伊藤 琢也
	10:30 ～12:00	人畜共通伝染病の動向とリスク評価について 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 獣医科学部 主任研究員 鈴木 道雄
	13:00 ～14:00	東京食肉市場における食の安全・安心への取り組みについて 東京食肉市場株式会社 総務部 部長 白田 孝一
	14:15 ～15:15	安全な食品とは 消費・安全局 食品安全政策課 食品安全危機管理官 藤田 佳代
	15:30 ～16:30	危機管理とは 同 上
10月2日 （木）	8:45 ～ 9:45	食品の表示について 消費者庁 食品表示課 法令係長 松田 謙一郎
	10:00 ～10:45	生産段階における畜産物の安全確保について 消費・安全局 畜水産安全管理課 生産安全班 課長補佐 塩田 知恵子
	11:00 ～12:00	牛トレーサビリティ制度について 消費・安全局 畜水産安全管理課 牛トレーサビリティ企画班 専門官 渡邊 弘樹
	13:00 ～14:30	飼料のリスク管理について 消費・安全局 畜水産安全管理課 飼料検査指導班 課長補佐 永原 貴子
	14:45 ～15:45	動物用医薬品のリスク管理について 消費・安全局 畜水産安全管理課 薬剤耐性対策班 課長補佐 保坂 綾
	16:00 ～17:30	大規模な放射能汚染を踏まえた畜産生産技術について 農研機構 畜産研究部門 畜産飼料作研究領域 省力肉牛生産グループ 上級研究員 山田 大吾
10月3日 （金）	8:45 ～10:15	JGAPの状況について 畜産局 畜産振興課 畜産生産工程管理班 生産工程管理班 森川 昇治
	10:30 ～12:00	生産段階における HACCP 方式を活用した衛生管理について 消費・安全局 動物衛生課 保健衛生班 家畜衛生専門官 千葉 純子
	12:00 ～12:15	閉講式

事情により講師及び時間を変更する場合があります。

3 開催場所（宿泊等の問合せ先）

独立行政法人 家畜改良センター 中央畜産研修施設

住 所 〒961-8511 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原 1

T E L 0 2 4 8 - 2 5 - 7 0 6 0

F A X 0 2 4 8 - 2 5 - 6 7 5 5

4 受講対象者の範囲

国、地方公共団体、畜産関係団体又は農協等生産者団体等の職員で、畜産職域に配属されて原則 5 年以内の者、又は当該関連分野を担当する者、農業に従事する者

5 受講者数 40 名程度

6 受講者の留意事項

- (1) 受講者は、宿泊等については研修開始 10 日前までに中央畜産研修施設へ直接申し込むこと。

なお、領収書の宛先は原則個人名宛てになっているが、変更を希望する方は、宿泊届提出の連絡事項にその旨書き込むようにすること。

また、事情により欠席することとなった場合は、速やかにその旨を研修施設に連絡すること。

- (2) 研修施設への入所は、研修初日の 9 時 00 分～12 時 00 分までに行うこと。

なお、家畜伝染病予防のため、研修施設に入所する当日は、極力、畜産関連施設等への訪問は避けること。

- (3) 受講者は、共済組合員証（健康保険証）、筆記用具、寝間着等を持参すること。

本研修に関する問合せ先

農林水産省畜産局総務課調整班 宮本

TEL 03-6744-0568（ダイヤルイン）